

福島第1原子力発電所の事故を機会に、原子力や放射線に対する関心が高まっている。しかし、それらの実体を平易に解説し、広く知識を与えるような試みはほとんどなされていない。この「得体の解らなさ」が不安感を呼び、正確な情報の理解を妨げている。まずは落ち着いて考えられるように、原子力や放射線に対する確かな科学情報を提供し、各自がより適切な判断・行動の規範を持つための手助けをしたい。

緊急講演会

日時：4月21日(木)

17:10～18:40

場所：共通講義棟2号館201

解説：

原発事故と放射線

対象：お茶の水女子大学学生，教職員

内容と担当講師

福島第1原発事故の概要と放射線環境の現状について
お茶の水女子大学ラジオアイソトープセンター講師 古田悦子

放射線とはどんなもの？

お茶の水女子大学理学部生物学科准教授 宮本泰則

放射線の生物・人体への影響

東京大学アイソトープセンター教授 井尻憲一

(理学部生物学科 放射線生物学担当)

司会：最上善広 (理学部生物学科)

問い合わせ先：最上善広 (mogami.yoshihiro@ocha.ac.jp)